

ロータリー財団
委員会

「おなじ星を見ていた・ギアリングスの架かる虹」より
夜明け 内田 新哉

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 田中 正躬
- 会報委員長 黒木 正人

<会長の時間>



CLPについてお話をしたいと思えます。昨年度、米澤会長のもとで、CLP検討委員会が立ち上げられました。これはクラブの細則にも載っている処ですが、3年後のビジョンを描くことから始める長期計画を策定する事を目的とすると載っています。そして今年度は具体的に検討を進めていきたいと言う事で、新たに立ち上げ、現在話を進めだしています。メンバーは少し拡大しまして、直前、現、次期会長幹事そしてAG、地区委員をやって頂いています大村さん、塚本さんに後からですが、次次期の会長幹事さんにも入って頂くようにしました。

CLPは2004年RI理事会で決定・推奨されています。当クラブでは内田会長の時に紹介され、斎藤会長の時に細則に検討委員会の設置を明文化されています

CLPの目的を一言で言うと、クラブを長期的にいかに発展させ、活性化させていくか、と言う事だと思います。ロータリーに限らずどんな組織も、時間と共に硬直化して行きます。そしてマンネリ化を打破するには創意と工夫が必要なんだろうと思います。当クラブがそうだと思いますが、現状の課題を考え、そして未来をどうしていくのか、皆で考え思いを共有して行く事は大切だと思います。

ロータリーはクラブの多様性を尊重しており、それぞれのクラブが様々な形で、活動をしております。そんな中で当クラブも独自性を尊重しつつ、優先する活動項目、ビジョン、中核となる価値観などについて持続可能であり良い形に変わっていくには(変化を生み出すには) どうすれば良いか。考えて行く事が大切だと思います。

今年度地区では「こうありたい」と言うビジョンを描き、それに沿った目標と行動計画となる「戦略計画」を立てましようと言っています。そしてその中で一番大切な事は、多様で多くの会員が立案に参加する事と有ります。当クラブも検討委員会だけで進めるのではなく、会員全員が一緒に考える事が大切だと思います。そしてその結果、今のままで行きましょう、こここのところはこう変えましょう、全く新しい形で戦略計画を立てましよう。など総意で決めていければいいのかなと思います。

そんなことで、本日皆様の手元に「戦略計画立案ガイド」をお配りしました。2ページ目3ページ目にアンケートが有ります。それにご意見を書いてください。それと検討委員会で話した事をまとめて、それをベースに、来たる12月23日の夜間例会で意見交換をしたいと思っています。

このアンケートは大切なものと思っています。書ける処だけで結構です。全員の皆さんに書いて頂きたいと思っています。また12月のその例会にも全員参加頂きます事をお願いして、会長の時間といたします。

<幹事報告>

◎高山市青少年市民会議より

- ・「第35回家族スナップ写真展」「第27回家庭の日図画展」開催にかかる出役について(依頼)

日程: 12月6日(木)から12月9日(日)まで

会場: 高山市民文化会館 2-5会議室、2-6展示室、4-7会議室

◎高山ライオンズクラブより

- ・結成60周年記念大会へのご厚志お礼

<受贈誌>

米山記念奨学会(ハイライトよねやま224)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	34名	2名	36名	40名	90.00%
本日	36名	—	36名	40名	90.00%

<本日のプログラム> ロータリー財団委員会



ロータリー財団委員長 田中 武
こんにちはロータリー財団委員会担当の田中でお座います。副委員長には古橋さんです。宜しくお願ひ致します。

◎第1回ロータリー財団研修セミナー(7月21日・土曜日)岐阜グランドホテルにて行われました。

出席者は、内田AG・門前会長・大村地区委員・田中・4人で出席させて頂きました。

◎第2回ロータリー財団研修セミナー(10月20日・土曜日)三重県のホテルグリーンパーク津で行われ、出席者は、内田AG・遠藤会長エレクト・副幹事の垣内さん、3人で行って頂きました。丁度この日は、社会福祉委員会で、高山市福祉フェスティバルがポッポ公園・高山市福祉センターで行われ、委員長の大村さんから、財団研修セミナーは行かなくても良いのでポリオ(小児麻痺)の寄付金の箱を持って立っているとすることで募金箱を持って立たせて頂き¥52,815円集まりました。その節は募金に参加して頂きました皆さん、寒い中一日中本当にありがとう御座いました。

◎10月28日(日曜日)濃尾グループIMが盛大に行われ内田AGの挨拶、および岡田さんの講演大変素晴らしく盛會に無事終わった事大変嬉しく思いました。我WRC誇りです、皆様ご苦勞様でした。その時も、社会奉仕委員長の大村さんからポリオの募金で立っているとすることで立たせて頂き、入口で数人の人と、募金箱を持って立たせて頂きました、終われば後はおいしい物を食べるだけと思

例会報告

た瞬間、帰日も募金をしてくれと言われました。これを我業界では往復びんたと言っています。この時は¥150,000円、2回合せて¥202,815円、想像以上に集まり大変有難い事だと思い感謝しています。これも一緒になって、募金にお手伝いして頂きました皆さんと会員の皆さんには心より感謝致しています。本当に有難う御座いました。

それでは、地区ロータリー財団部門委員として大村さんから、ロータリー財団の今後の流れ、補助金の申請関係、今後の動き方等に付いてお話をさせて頂きますので宜しくお願い致します。其の後に、遠藤会長エレクトから、研修セミナーの報告、今後の動き方等を報告してさせて頂きますので宜しくお願い致します。

国際ロータリー第2630地区ロータリー財団部門補助金小委員会委員 大村 貴之 様

本年度より地区のロータリー財団委員をさせて頂いております。1年目なので分からない事ばかりですが、ロータリー財団について説明いたします。

ロータリー財団の標語は、「世界でよいことをしよう」(Doing good in the world)。その使命は「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。

このロータリー財団は、1917年6人目RI会長のアーチ・克蘭フが「世界でよいことをするために、ロータリーに基金を作ろう」と提案して始まりました。

特に10数年前からR財団は相当数のマッチング・グラントを処理するようになりました。これはロータリアンがR財団の人道的プログラムの価値を大きく評価するようになったからです。しかし増えた提出書類の処理に多大な時間と経費を費やすようになりました。R財団は会計・コンサルティングを専門とする会社に調査を依頼。結果は今のプログラムのモデルでは長期的な成功が望めないとの結論に達しました。これを受けR財団管理委員会は未来の夢委員会をつくりプロジェクトの見直しに取掛りました。これが「未来の夢計画」(Future Vision Plan)の始まりでした。

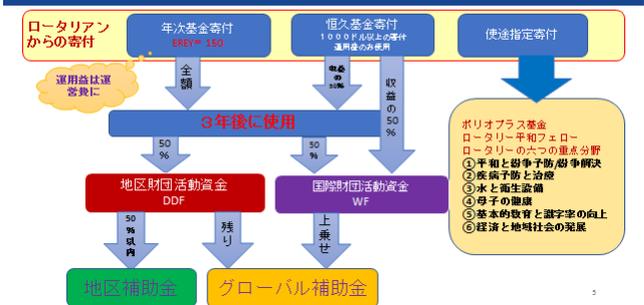
「未来の夢計画」の目的は、プログラムと運営を簡素化すること、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること、世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること、意思決定権を今まで以上に地区に移行することで、地区レベルとクラブレベルでロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること、ロータリーの公共イメージを高めることの5項目です。



R財団資金を有効に活用して、地域や人のためになる事業を積極的にを行い、進んで事業に出席しようとなるのではないのでしょうか。ロータリー財団補助金は、地区補助金(DG)、グローバル補助金(GG)です。

地区補助金は、該当する寄付年度の地区財団活動資金(DDF)の50%を地区の裁量でクラブまたは地区が行う以下の事業に使えるものです。

4 補助金の財源となる シェアシステム (寄付金の流れ)



グローバル補助金は、残りの50%を重点分野6項目(①平和と紛争予防/紛争解決、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥経済と地域社会の発展)に当てはまる事業に使えるものです。

奨学金は、グローバル奨学金・地区奨学金です

グローバル奨学金は、ロータリーの6つの重点分野に関する研究を専攻する大学院生に対し奨学金を支給するものです。

地区奨学金は、地区が独自の資格基準を設けることができます。2630地区では財団の使命に関する事以外に、文化、芸術の分野の学生も支援します。大学卒業以上の学生が対象です。申請までに入学許可を取得する必要が有ります。

ロータリー財団補助金を使った事業を行ったクラブは、積極的に事業の成果やロータリー財団補助金を使って出来たことを広報してください。

ロータリー財団は、せっかく皆さんからいただいた寄付を少しでも多く有効に使われることを願っています。

ロータリー財団は国際ロータリーに併設された法人ですが、理念的にも、実際的にも、一体の組織として機能しています。

国際ロータリーは会員からの会費によって支えられ、ロータリー財団は自発的な寄付によって支えられています。

クラブと地区は、ロータリー財団から授与された補助金を活用して、より良い町や世界を築くための補助金プロジェクトを実施しています。

補助金を申請しない年度であっても、ロータリー財団への寄付は、「未来への投資」とお考えいただき、R財団へのご理解とご寄付をお願いいたします。

3 ロータリー財団寄付の種類

年次基金寄付

Every Rotarian Every Year (EREY) 日本では「あなたも毎年150ドルを」(現在日本の34地区ですべての年次基金寄付目標は150ドルです。)
※シェアシステム: 年次基金寄付金は、ロータリー財団(TRF)で3年間投資運用され、その後50%は国際財団活動資金(WF)としてロータリー財団(TRF)へ、50%は地区財団活動資金(DDF)として恒久基金の運用益と共に地区へ配分される。

使途指定寄付

使い道を指定して寄付 (たとえばポリオプラスなど)

恒久基金寄付

ロータリー財団が寄付された元本には手を付けず投資運用し、その収益を活動基金として分配

会長エレクト 遠藤 隆浩

先だってロータリー財団のセミナーに参加してきました。

理事会には承認していただきましたが来期補助金事業を実施したいと思います。内容としては、小学生を対象に自然災害を模擬体験の中で学び、又海・山での自然体験を通じ他学校の児童との交流を深めるというもの企画しているところです。

今から書類の提出等行う必要がありますので実行委員会を組織することも理事会で承認いただきました。どうか御協力よろしくお願いたします。



インスピレーションになろう

例会報告



<ニコニコボックス>

●門前 庄次郎さん、田中 正躬さん

株式会社ゴーアヘッドワークス代表 蒲 優佑 様、ようこそお越しいただきました。毎週お越しいただけるようになる事を楽しみにしています。本日はロータリー財団委員会の担当例会です。田中委員長をはじめ遠藤会長エレクト、大村財団補助金小委員会委員さんよろしくお祈いします。来年度補助金事業を行う方向で進めていただいております。説明を宜しくお願いします。

●大村 貴之さん

ロータリーの友8月号「パズル de ロータリー」に応募し見事当選し木製パズルのプレゼント頂きました。当選しやすいので皆さんも応募して下さい。本日卓話します。よろしくお祈いします。



●出席プログラム委員

狹土 貞吉さん、田邊 淳さん

本日は例会出席者も少なく 10/26 に続き高い出席率で、とっても気持ちの良い例会となりました。今後も欠席時には必ずメイク頂き高い出席率キープと行きたいものです。皆様ご協力願います

●鴻野 幸泰さん

本日 100 万 \$ 弁当を作りました。いつも誠に有難うございます。

●伊藤 松寿さん、平 義孝さん、 米澤 久二さん、田中 武さん、 遠藤 隆弘さん、井上 正さん、

山下 直哉さん、田邊 淳さん

黒木 正人さん、榎坂 純一さん

特別参加者の蒲 優佑さんを歓迎いたします！



●下屋 勝比古さん

全国学生ハンドボール選手権大会で娘の東海大学は惜しくも敗れ3位でした。また優勝目指して頑張ってもらいます。結婚記念日のお祝いお近日中にします。ありがとうございます。

●住田 泰典さん

先週、誕生記念のボールペンを頂きありがとうございました。とても滑らかな書き味のペンで筆が進みます。50歳になりました。益々人生も滑らかに進めようと思ひます。ありがとうございます。ペンは良くても字はきれいになりません。

●阪下 六代さん

妻の誕生日にお花を贈り下さりありがとうございました。何歳になっても花を貰うことは嬉しい様です。

●大前 克秀さん

内の誕生日のお祝いに花をいただきました。家内も大変喜んでおります。ありがとうございます。全国古民家再生協会の月刊誌ジャパトラを机の上に置かせていただきました。読んでいただければ幸いです。

お薦めの映画

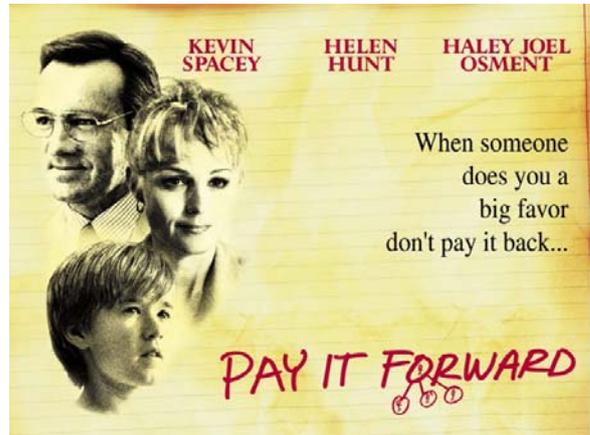
塚本 直人

「ペイ・フォワード」(PAY IT FORWARD)

ひとりの少年のアイデアが、世界を変える。ミミ・レダ一監督の感動ストーリーです。

11歳のトレバーは、社会科の授業中、担任のシモネット先生から「もし君たちが世界を変えたいと思ったら、何をやる？」と問い掛けられる。悩んだ末にトレバーはあるアイデアを思いつく。それは「ペイ・フォワード」。他人から受けた厚志をその人に返すのではなく、まわりにいる別の人へと贈っていく。・・・という奇想天外なアイデアだった。やがて、少年の考えたユニークなアイデアが広がり、心に傷を負った大人たちの心を癒していく。

以上のようなあらすじが DVD のインデックスに記されています。



2000年に制作されていますが、僕がこの映画を観たのは2003年頃だったと思います。たまたまBS放送で流れていた映画番組でストーリーに引き込まれていき、感動したのでDVDを買ったと記憶しています。発想はとてもシンプルなのですが、一般の人は良いとわかっている、なかなか善い行いは実行できないものです。

「もしもこの世の中が良いことをする人ばかりであったら、どんなに素晴らしい世界になるだろう。」子供達なら素直に想像することでしょう。PAY IT FORWARD、次の3人に恩を贈る。恩返しではなく、恩送り。今年51歳になった僕は人生の諸先輩方から数々の恩を受けてきましたが、なかなか、恩返しができていません。これからはPAY IT FORWARD、これから活躍する次の世代や、地域の方にお役に立てることを実践しなければなりません。自分自身への戒めも込めて、この映画を推薦します。

お子さんや、お孫さんと一緒に見ても心の温まる作品です。本編では難しい課題を3人解決することが実践テーマですが、僕は欲張らず、できることから恩送りをしていきます。まずは高山西ロータリークラブの活動からですが.....

インスピレーションになろう